

シーボルト記念館だより No.89

Siebold Memorial Museum Journal

シーボルト来日 200 周年をお祝いします！

令和 5 年（2023）は、出島オランダ商館医フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトが初めて来日して 200 周年にあたります。

これを記念して長崎市内ゆかりの場所で様々なイベントが開催されます。

日本の魅力を世界に発信したシーボルトの日本への愛情を、100 年に一度の変革を迎えた長崎の町で見つけてみてください。

※詳しくは、長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」をご覧ください。

主な行事

シーボルト来日 200 周年記念展 6月8日（木）～8月20日（日） 長崎市歴史民俗資料館（平野町 7-8）
第 55 回日本医学教育学会大会 7月28日（金）・29日（土） 出島メッセ長崎（尾上町 4-1）
SIEBOLD FAUNA JAPONICA 魚図譜展 8月4日（金）～31日（木） シーボルト記念館
企画展シーボルトと川原慶賀 8月～12月 出島（出島町 6-1）
長崎フェスタ 10月（予定） 出島
大シーボルト展 9月30日（土）～11月12日（日） 長崎歴史文化博物館（立山1丁目 1-1）
特別展鳴滝塾の実像（仮称） 10月6日（金）～11月30日（木） シーボルト記念館
旗竿完成 10月13日（金）～ 出島
記念シンポジウム 10月14日（土） 出島メッセ長崎
第 36 回長崎ウーマンズ・ウォークラリー 11月3日（金・祝） 長崎中央公園（賑町 5-27）



記念事業で製作した鳴滝塾模型
（複製品）の展示風景

（4月29日～5月7日）



記念事業ロゴマーク

第34回特別展「榎林宗建とその一族」を開催しました

令和4年10月21日（金）から11月27日（日）まで、シーボルト門人で蘭方医の榎林宗健（1801～1852）の没後170周年にあわせて特別展を開催しました。

長崎における西洋医学の発展に貢献した榎林宗建とその一族の業績を紹介し、期間中は多くの市民や観光客で賑わったほか、榎林家のご子孫も来場されました。



『鳴滝紀要』第32号を発刊しました。

研究誌『鳴滝紀要』の最新刊（A4判、86ページ）をこのほど発行しました。

定価は1冊1,500円。記念館で販売しているほか、郵便でも受け付けております（その場合は送料が別途310円かかります）。バックナンバー第7号～（8・9・25・26号完売、7号はあとわずか）もございます。くわしくは記念館まで。

<主な内容と著者>（敬称略、なお肩書は執筆時のものです）

- ・【資料紹介】シーボルト第2次滞在期に絆を深めたおたき、おいね母子との往復書簡
石山 禎一（東海大学元非常勤講師）
- ・シーボルト筆の1828年9月27日付の業務引継の文書A.自然科学
—住友友聞から入手した銅標本—
田賀井篤平（東京大学総合研究博物館名誉教授・特招研究員）
Morgaine Setzer-Mori（ルール大学ポーフム東アジア学部日本史学科講師）
- ・アレクサンダー・フォン・シーボルト『東亜政論——1898年7月から1900年9月まで——』（2）
堅田 智子（関西学院大学教育学部助教）
- ・史料紹介「高野長英一件 大槻俊斎口上」
徳永 宏（シーボルト記念館長）
- ・令和3・4年利用状況・事業報告・職員名簿

令和5年（2023）6月1日発行 シーボルト記念館
〒850-0011 長崎市鳴滝2-7-40

TEL 095-823-0707 FAX 095-823-0170
E-mail siebold@city.nagasaki.lg.jp